

平成20年12月8日

計算物理学デュアルディグリープログラムについて

本プログラムは、計算物理学的な方法を用いて研究を行う数理物質科学研究科物理学専攻及び物質創成先端科学専攻の博士後期課程の大学院生が、計算科学に関する知識と方法論を、システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻の博士前期課程において系統的に学ぶことを想定したデュアルディグリープログラムです。

計算物理学分野の研究では、超並列計算機の利用を含む大規模計算が必須であり、しばしば高度なプログラミングやアルゴリズム開発を伴います。この研究分野で博士学位取得を目指す大学院生は、従来から研究の過程で計算科学に関する知識と方法を実践的に獲得してきましたが、デュアルディグリープログラムのもとでコンピュータサイエンス専攻の博士前期課程に在籍し、計算科学に関し系統的に学ぶことにより、より高度で専門的な知識を系統的に獲得し、高い適応力を得ることができると考えられます。また、物理学専攻及び物質創成先端科学専攻の計算物理学分野の教員とコンピュータサイエンス専攻の教員の一部は、計算科学研究センターにおける活動を通じて日常的な協力体制が整っていることから、デュアルディグリープログラムにおいても適切な連携を保ちつつ研究指導が可能であると考えられます。

本プログラム履修者の単位の取得に関しては、原則として他のコンピュータサイエンス専攻の博士前期課程の学生と同等です。ただし、コンピュータサイエンス専攻の博士前期課程では、入学前に他研究科において履修した科目を10単位を上限として課程修了に必要な単位に含めることが認められています。

本プログラムの履修を希望する者は、システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻の入学試験に合格することが必要です。入学試験を受験するにあたり、予め博士後期課程の指導（予定）教員（物理学専攻または物質創成先端科学専攻）、及び博士前期課程の指導（予定）教員（コンピュータサイエンス専攻）と、本プログラムの履修に関して十分に相談をして下さい。その上で、デュアルディグリープログラム履修申請書を印刷したものに、博士後期課程及び前期課程の指導（予定）教員に署名してもらい、数理物質科学等支援室大学院教務に、平成20年12月17日（水）までに提出してください。履修申請が認められ者には履修許可書を交付します。

本プログラムに関して質問などがあれば、数理物質科学等支援室大学院教務、または数理物質科学研究科物理学専攻学務委員・矢花教授まで、お問い合わせ下さい。